

授業科目名	歴史文化ツーリズム総合研究Ⅰ・Ⅱ		担当教員名	蝦名 大助		
コース名	文化・自然ツーリズムコース					
科目区分		単位	配当年次	実施時期	曜日・時限	形態
コース別専門科目	選択必修	Ⅰ：2単位 Ⅱ：2単位	4	Ⅰ：春学期 Ⅱ：秋学期	別途案内	講義
授業概要						
歴史文化遺産について、主に観光との関わりという観点から調査をし、卒業論文をまとめます。						
到達目標						
総合的な調査・研究能力を身につけることです。卒業論文の形にまとめます。						
授業方法(展開)						
いわゆるゼミ形式です。教員からの一方的な講義ではなく、学生主体の討論や発表が中心になります。						
関連科目・知識・スキル						
<ul style="list-style-type: none"> ・歴史文化ツーリズム専門科目を2科目以上履修することが望ましいです。 ・基本的なPC運用の知識（特にMicrosoft Office）を求めます。特にWordの知識が必須となります。 						
成績評価						
授業への取り組みにより総合的に評価します。						
教科書・参考書など						
適宜・授業中に指示します。						
履修上の注意事項						
<ul style="list-style-type: none"> ・現地調査（学外教育）では学外教育補助を超える負担が発生する可能性もあります。その他、文献資料の収集なども必要になります。卒業論文をまとめるにあたってある程度の経費が必要になることに注意してください。 ・連絡などでPCメールを使うことが多くなりますので、注意してください。 ・教員とは定期的にメールなどで連絡をとるようにしてください。 						

授業の柱(単元)と授業スケジュール

卒論研究指導 (15回)

歴史文化総合研究クラス合同での報告会などを行なう可能性があります。

学生への一言

実践研究・総合研究の2年間をとおして、自発的な問題発見・解決能力を身につけてもらいたいと思います。卒業論文を書くことは大変な作業ですが、自分の力になりますので、真剣に取り組んでください。

授業科目名	歴史文化ツーリズム総合研究Ⅰ・Ⅱ		担当教員名	高根沢 均		
コース名	文化・自然ツーリズムコース					
科目区分		単位	配当年次	実施時期	曜日・時限	形態
コース別専門科目	選択必修	Ⅰ：2単位 Ⅱ：2単位	4	Ⅰ：春学期 Ⅱ：秋学期	別途案内	講義
授業概要						
<ul style="list-style-type: none"> これまでの学習を踏まえて卒業論文のテーマを設定し、文献調査・現地調査等を行いながら各自で論考を進め、卒業論文にまとめあげる。 						
到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> 設定した問題に関する資料を集めて分析し、自分の仮説を立証する手法を身につける。 自分の考えをわかりやすく論理的に組み立て、文章化する能力を身につける。 						
授業方法(展開)						
<ul style="list-style-type: none"> ゼミ形式で毎週担当の学生を決めて論文構想の発表を行い、教師および他の学生ともに意見交換をしながら進めていく。 						
関連科目・知識・スキル						
<ul style="list-style-type: none"> 文化遺産論、文化遺産活用論、世界遺産制度論、世界遺産ツーリズム論を受講すること。 						
成績評価						
<ul style="list-style-type: none"> ゼミでの発表内容および調査・研究への取り組みをみて評価を行う。 また総合研究Ⅱについては、卒業論文の審査をもって評価とする。 						
教科書・参考書など						
<ul style="list-style-type: none"> 特になし。自分で研究テーマに合わせて入手すること。 						
履修上の注意事項						
<ul style="list-style-type: none"> 毎時間行われるゼミでの発表には、各自前もって配布資料を用意すること。 またフィールドワークについては2500円までの補助があるが、それを超える分については自費出費となる。 ゼミの時間以外にも、疑問があればアポイントを入れて質問に来ること。 						

授業の柱(単元)と授業スケジュール

(1) 授業の展開

原則的にゼミ形式ですすめる。

毎時間、数名の卒業論文の状況報告を行い、その内容・論考の進め方について全員で議論する。

(2) フィールドワーク等の学外教育実施の予定

卒論と並行して、調査手法を身につけるためにゼミのメンバー全員で文化遺産を対象とする調査を実施する。

日時は未定だが、6～7月に2回ほど実施する予定。

また、状況を見ながら夏休みにゼミ合宿を実施することも視野に入れている。

(3) 卒業論文の提出(総合研究Ⅱ)

12月末(正確な期日は後日発表)を期限として卒業論文の執筆を進める。

1月には歴史文化コース全体での卒論発表会を予定している。

学生への一言

大学時代で学んだことの総決算として、しっかりと考えて論文を作成して欲しい。

忙しくても地道に少しずつ取り組むことが、意外と早道の場合もある。必死に取り組めば取り組むほど、後の人生で必ず役に立つ経験が得られるだろう。

授業科目名	歴史文化ツーリズム総合研究Ⅰ・Ⅱ		担当教員名	小磯 学		
コース名	文化・自然ツーリズムコース					
科目区分		単位	配当年次	実施時期	曜日・時限	形態
コース別専門科目	選択必修	Ⅰ：2単位 Ⅱ：2単位	4	Ⅰ：春学期 Ⅱ：秋学期	別途案内	講義
授業概要						
<p>「神戸の外国文化」に沿った各自の研究テーマについて3年次の実践研究Ⅰ・Ⅱで学んだことを、卒業論文として仕上げるのが目的となる。毎回の授業では、収集したデータの整理と総括、そしてそれを文章で記述していくことを着実に、地道に、自主的に行っていく必要がある。</p>						
到達目標						
<p>卒業論文の完成・提出。自分が取り組んだ事柄を最後までやり遂げた事実こそが、大学を卒業したこととの証であるとともに、各自のかけがえの無い財産となる。</p>						
授業の運営方法						
<p>毎回の授業では、各自の研究の進捗状況を発表し、全員でその内容について議論を重ねたい。毎週、たとえわずかずつでも、前進あるのみ。</p>						
関連科目・知識・スキル						
<p>「文化遺産活用論」「世界遺産ツーリズム論」「南アジア地域研究」「西アジア地域研究」などの履修が望ましい。</p>						
成績評価						
<p>普段の受講態度、研究への取り組み・熱意。卒業論文。</p>						
教科書・参考書など						
<p>神戸や兵庫に関する近現代の歴史、また諸宗教に関わる書籍一般。</p>						
履修上の注意事項						
<p>物事を調べ、それを文章にしていくのは孤独で地道な作業です。一步一步を重ねていくほかありません。</p> <p>そのことを体に刻み込めるかどうか分かれ道といえます。</p>						

授業の柱(単元)と授業スケジュール

春学期

- 1回：オリエンテーション
- 2～14回：各自の研究進捗状況報告会、現地取材
- 15回：歴史文化コース全体での発表報告会

秋学期

- 1回：夏季休暇中の作業報告
- 2～14回：各自の研究進捗状況報告会
- 15回：歴史文化コース全体での発表報告会

卒業論文の完成・提出

- ★選択したテーマによっては、履修者全員での文献購読を実施する場合もある。
- ★また各セメスターに数回程度、歴史文化コース合同での報告会を予定。

履修希望者へのメッセージ

皆さんの卒業論文・研究成果が、「このテーマについては神戸夙川学院大学に聞け」といわれるようなデータベースのひとつひとつの礎になって行くことを肝に銘じること。